

会 議 録（要 旨）

| | |
|---|---|
| 会 議 名 | 令和4年度第1回教育委員会事務事業点検及び評価に関する有識者会議 |
| 開 催 日 時 | 令和4年5月31日（火） 午後3時30分から午後4時40分まで |
| 開 催 場 所 | 市民会館（さくらホール）集会室 |
| 出 席 者 及 び 欠 席 者 | 出席者：教育に関し学識経験を有する者、教育に関し識見を有する市民、 公募に応じた保護者 事務局：教育総務課長、同課教育政策係長、主事 |
| 議 題 | (1)令和4年度教育委員会事務事業点検・評価の実施方法について ア 報告書の構成について イ 点検・評価の流れについて ウ 二次評価候補事業の選定について (2)その他 |
| 結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。) | 議題(1)について ア 報告書の構成について 昨年度と同様に1 実施方法、2 点検及び評価結果、3 教育委員会の活動状況、資料とする。 イ 点検・評価の流れについて 委員が二次評価事業として選定したものに対し、事業所管課が説明を行い、その結果を受けて委員が二次評価を行うこととする。 会議は3回とする。 第1回会議で二次評価事業を委員が選定し、第2回会議では、二次評価事業について事業所管課が事業内容の説明を行う。第3回会議で、事務局で作成した報告書（案）の内容について、委員が内容確認を行い、その後、教育委員会定例会、9月の市議会定例会に提出することとする。 ウ 二次評価候補事業の選定について 二次評価事業は、各委員の意見を踏まえ、事務局において全体のバランスを調整した上で、必要に応じて評価事業の追加をすることとする。 なお、評価事業が決定次第、速やかに各委員に報告する。 議題(2)について 質問票の提出については、6月10日（金）を提出期限とする。 次回以降の会議日程については、2回目会議は6月22日（水）午後6時開始。3回目会議は7月5日（火）午後3時40分開始とする。 なお、場所等の詳細については別途通知する。 |
| 審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) ○印：委員 ●印：事務局 | 議題(1) 令和4年度教育委員会事務事業点検・評価の実施方法について ア 報告書の構成について ● 昨年度は、1 実施方法、2 点検及び評価結果、3 教育委員会の活動状況、資料という構成であったが、基本的な構成については、昨年度と同様でよいか。 ○ 二次評価事業について10事業に絞り込んで評価をする理由が報告書に記載されていない。今年度も10事業で絞り込んで評価をするのであれば、その理由を報告書に載せた方がいいのではないか。 ● 今一度、10事業に絞り込んで二次評価事業を選定している理由について確認をし、報告書に記載をすることとする。 |

- 点検評価のやり方については教育委員会で報告をして決定しているのか。
- 例年、教育委員会において概要の説明をしている。
- やり方について、事前に通知があったが、そこで意見を出していれば今年度のやり方に反映できていたのか。委員の皆様から意見を聞いて反映させるやり方をするのであればもう少し早くから意見を聴取するか、若しくは経緯を説明する場を設ける等した方がいいのではないかと。そのあたりのやり方を少し変えた方が良くと思う。
- やり方については、委員の皆様の意見をスムーズに反映できるよう事務の流れについて事務局で考えていきたいと思う。
- その他、御意見がなければ、基本的な構成については、昨年度と同様でよいか。
- 異議なし。

イ 点検・評価の流れについて

- 令和4年度の会議の開催回数は、現時点では今回を含め全3回を予定している。
 - 一次評価事業については、事業担当課で一次評価を行い、事前に評価調書を委員に配布している。本日の会議では、委員の皆様から「二次評価の候補事業」を選定していただくこととする。令和3年度は、事務局において10事業を御提案し、その10事業について二次評価をしていただいた。
 - 2回目の会議では、選定した「二次評価候補事業」について、事業担当課から事業内容の説明を行い、委員の皆様へ二次評価事業を選定していただく。
 - その後、委員の皆様へ御提出いただいた二次評価及び総括に基づき、事務局で報告書（案）を作成する。
 - 3回目の会議では、事務局で作成した報告書（案）の内容について、委員の皆様へ確認を行う。
 - その後、7月の教育委員会定例会に議案として上程し、9月の市議会定例会において報告することとする。
- 御意見がなければ、以上の流れでよいか。
- 第2回の会議で二次評価候補事業の説明を受けた後に、二次評価事業を選定するという事は、二次評価を行う事業として確定していない中で、説明をしてもらうという事か。
- そのとおりである。ただ、事務局としては、二次評価候補事業はそのまま二次評価事業として良いのではないかと考えている。
- 二次評価候補事業を説明した後にその事業が二次評価事業にならなかった場合、もう一度説明会を開く必要が出てくるのではないかと。であれば、本日、二次評価を行う事業を決めてその上で、各事業所管課から説明を受ける流れが良いのではないかと。何か意図があれば伺いたい。
- 意図はない。御発言の流れの方が事務的にもスムーズだと思う。本会議で二次評価事業について選定し、選定しきれない場合は、後日、追加で調整させていただければと思うが、基本的には本日選定していただいで、二次評価を行う事業として2回目の会議で各担当課から説明をするような流れにしたいと思うがよろしいか。
- 異議なし。

ウ 二次評価事業の選定について

- 「教育委員会事務事業点検・評価」を実施する事業については、「武

蔵村山市第二次教育振興基本計画」で示されている50の具体的施策の中で、重点施策として位置付けている事業及び委員の皆様から挙げていただいた事業を中心に、各事業所管課と調整の上、決定した次第である。

所管課が行う一次評価については、資料1「令和4年度実施 令和3年度教育委員会事務事業点検・評価対象事業一覧」4ページに記載の基準を設けている。この所管課による一次評価を行った事業から「二次評価の事業」を選定していただきたい。

先ほど説明したとおり、本日、「二次評価事業」として選定いただいた事業については、次回の会議で、事業担当課から説明をする予定となっている。

- 喫緊の課題があると思う。例えば追加の項目でいじめの認知の問題と解消の問題について追加させていただいた。また、GIGAスクール構想におけるパソコンの使用の問題に関わったこと等こういった事は非常に重要で高度な対応であり、学びがどれぐらいストップしているのか等聞きたい。

- 例年、計画に沿った形で事業が挙がっていてここからお選びくださいという形に基本的はなっていると思うが、正直、これに縛られてきてしまうところもあるのではないかと思う。本来であれば御発言のとおり学びの継続の話や、GIGAスクール構想についてといった形でもいいと思う。なかなかここに載っていないと委員の皆様から御意見を頂戴するのは難しい部分があるかと思う。例えば武蔵村山市では小中一貫校があるので小中一貫教育、小中連携教育について話を聞きたいであるとかそういうものでもいいと考えている。

- 10項目をどういう視点で絞り込んで行くか明確でないただ単に点検評価委員の思いで行なっている形となってしまう。そこは理屈付があった方がいいのかと思う。

また、10項目に絞る必要性があるのかどうか。絞り込むというのが、多分に事務の軽減として捉えられている。他の自治体では全事業を評価している。そういった自治体と比べるとこれは省力化だと取れてしまうのでそこは明快なロジックを立てた方がいい。

- 現在、市内で家庭科の教諭をしており、現場に出させていただく中で、子供の様子といったところで地域未来塾というのを色々な学校で行っていて、勉強が難しいといった子供がなかなか自分から行く勇気がなかったり、家庭の事情で塾にいけなかったりいろいろあると思うが、もう少し個々で見えあげられるような評価番号10番「教育ボランティアの派遣」を問わず、補助教員の先生が見るなどもう少し子供に寄り添えるようになればいいなと思う。

そういった点で言うと、評価番号9、10や補助教員もやったことがあるが補助教員の先生はもっといいのかなと思う。1学年に1人よりも各クラスにお手伝いしてくださる人がいる方が現場はありがたいと思うのでそういう充実さがいただけたらいいと思う。

- 地域未来塾についてはリストには記載がないが、追加項目として取り扱うこととする。

- 評価番号25番「特別指導の体制の整備」について、説明に、一部の学校では、学校と家庭の連携推進事業を行ったと記載されているが、学校と家庭との連携が一番大事である問題なのになぜ一部の学校しかやらなかったのか確認したい。

また、関連して評価番号28番「家庭教育講座の実施」について、令和3年度に、「漢方入門」及び「睡眠と健康の知恵袋」を全3回、全2

回に分けて実施しているが、記載されている人数がこの講座に参加された人数ということであれば少ない。実施するにあたってもったいない。また課題としている題材があまりなかったのかと感じる。今年度の方向性では検討していくと書かれているが、検討するのであればどんな題材を考えているのか聞きたい。

- 評価番号47番「校務用のコンピュータの更新」について、リース期間が満了するということだが、何台ぐらいでどの程度入れ替えるのか伺いたい。
- 基本的には教員一人一台で整備をしているので三百数十台の予定。パソコンと校務支援システムが令和5年の夏ごろに契約期間が満了するため、予算が確保できるかは別だが、更新に向けて検討していかなければいけないところである。
- 今の話からするとGIGAスクール構想や教員研修含めたICT関連事業全てを二次評価するのはどうか。
- 全般的にやるのではなく、部分的にやると評価事業に偏りが出てしまうのではないかと。どうしても偏りがあつたり前回評価しているからいいやとなってしまうと見落としが出てしまうのではないかと引っかけるところではある。
- これは点検評価の説明に関するやり方で偏りが出ているのではないかと。都教委では、全ての部長職が会議に集まり、委員から質問のあった事業について所管の代表が説明をするといったやり方で行っている。これだと、項目を全て見たという事にもなる。今年はいいが今後、このようなやり方を考えていかないと必ず偏りが出てくると思う。
- 事業ごとに関連も当然あるので事業だけ見ても実は他の事業も知らないで全然違う評価になってしまうというのも確かにある。それも含めて今後のやり方について検討していきたいと思う。
- 評価番号9番「個に応じた指導の実施」、10番「教育ボランティアの派遣」、11番「小学校補助教員の派遣」。それからICT教育に関する事業については、包括的に校務の話や先生たちの話、子供たちの話というところで大きくICTという形でまとめさせていただければと思う。
- 今年は委員から二次評価項目を挙げた上で、もう少しバランスを見た方がいいということであれば、事務局の方で10項目にこだわらず何点か追加したらどうか。
- そのようにする。
- 近々に、都立高校の入試で英語のスピーキングテストが実施される。そこで、スピーキングに関する中学校の取組がどの程度できているか、小学校から中学校にかけて4技能をどう育成していくのかそのあたりの英語教育について伺いたい。
- 確かにスピーキングテストについては市議会でも意見が出ている。恐らく保護者もどういった形になるか、学校ではどう教育しているか気になる場所ではあると思う。
- 整理すると、評価番号9、10、11、25、28、ICT教育に関する事業全般について、英語教育に関する事業について、地域未来塾について、いじめ問題について、コロナ関係による学びの継続について。ひとまず10項目だが他にあるか。
- 評価番号19番「特別支援教育支援員の配置」について、予算が毎年増えているがどのようにしているのか予算の詳細について知りたい。
- もしよろしければ特別支援教育全般ではないがそういったイメージで評価していただくのはどうか。特別支援の対象の子供は年々人数が増え

| | |
|--|--|
| | <p>ているような状況であるため本市だけに限らず課題としては大きいものになるのではないかと考える。</p> <p>○ 関連して、評価番号21番「特別支援教育の充実」について、若手の教諭に対する講義だけでなく、ボランティア含め全教職員に必要なのではないかと感じるため選定したい。</p> <p>● 体制、教員への研修、支援員の配置状況に関する内容等含めて全般的に特別支援教育といった枠組みで整理をさせていただければと思う。</p> <p>○ 二次評価事業とは別で、評価的に見て、自己評価が低い事業例えばC評価がついている事業について、なぜその評価が付いたのかを伺いたい。コロナの影響で実施できなかった事業を除き、CやDがついた事業について何も触れないのは市民の皆様には説明がつかない。</p> <p>● C評価D評価のものは一度整理をする。 二次評価事業については、事務局でバランスを調整した上で、必要に応じて評価事業の追加をお願いする必要があることを御了承いただきたい。また、二次評価事業については事務局で整理をした上で改めて通知するというところでよろしいか。</p> <p>○ 異議なし。</p> <p>議題(2)その他</p> <p>● 質問票の提出については、6月10日の(金)までに提出をいただけるとありがたいと思う。</p> <p>● 次回以降の日程については、2回目の会議は6月22日(水)午後6時から、3回目の会議は7月5日(火)午後3時40分から行うこととする。また、場所等の詳細については別途通知する。 その他、御意見がなければ、会議を終了する。</p> |
|--|--|

| | |
|-------------------------|---|
| <p>会議の公開・ 非公開の別</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>公開 <input type="checkbox"/>一部公開 <input type="checkbox"/>非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 〔 〕</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： _____人</p> |
|-------------------------|---|

| | |
|--------------------------|---|
| <p>会議録の開示・ 非開示の別</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>開示 <input type="checkbox"/>一部開示(根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等： _____)</p> |
|--------------------------|---|

| | |
|--------------|---------------------------|
| <p>庶務担当課</p> | <p>教育部 教育総務課 (内線：424)</p> |
|--------------|---------------------------|

(日本産業規格A列4番)